

令和6年3月

保護者・地域の皆様
関係各位

さぎそう学舎世田谷区立八幡小学校
校長 峯岸 敦子

令和5年度学校関係者等評価アンケート結果報告書に基づく

令和6年度 学校改善方策

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。令和5年度学校関係者等評価について学校関係者評価委員会委員長八尾孝枝様からいただいた結果報告書を受け、次のように令和6年度学校改善方策をご報告します。よろしくお願ひします。

【回収率】

今年度の保護者回収率は69.3%という結果でした。前年度と比較すると、全体ではやや増となっているものの低学年の回収率の低下が見られ、学校関係者評価への理解が不足していることが懸念されます。アンケートの趣旨を丁寧に説明し、高い回収率を得るためにアンケートへの協力依頼を一層、工夫していきます。

地域の方々の回収率は51.1%。前回より30ポイント増となりました。学校に対してより関心をもっていただけるように教育活動についてさらに連携と周知を図り、ご理解いただくように努力してまいります。

【学習について】

児童について「おおむね良好である。黒板の書き方やプリントなどを工夫している、が昨年度より低い」「映像機器と比べ板書の訴求力が弱っている。教師間の差異がなくなるよう板書の工夫をする取り組みはしているが、一部の児童には伝わっていない可能性がある」との報告がありました。

保護者についても、「全般に高い水準である」「黒板の書き方やプリントの工夫をしている、について分からないという意見が多いのは、板書やプリントを目にする機会が減っていることと、板書の工夫はされているものの評価に反映されていないのでは」という報告がありました。

- ・板書やプリント、タブレット端末それぞれの利点を生かせるように、教職員間で情報共有し、継続して工夫していきます。
- ・どの教科においても「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、ねらいと評価を明確にし、問題解決型の学習を取り入れることにより児童の学力向上を図ります。

- ・探究的な学びを推進する点に児童の学び合う力を高め、地域・家庭・企業等の多様な人々と協働して課題を解決する経験を重視して取り組みます。

【生活指導について】

児童について、「5, 6年ともにおおむね肯定的で正直に自己理解した回答をしている。6年生は複数の先生が指導していることで、授業中も落ち着いて勉強ができるようになっていると考えられる」

保護者について、「6年生の否定的回答が他学年と比較して多いのは、この学年の状況は影響しているものと思われる。保護者も問題を認識しており問題を共有していることは良いことなので、引き続き改善に努めてほしい」との報告がありました。

地域からは「昨年と比べ回答率が上がった。否定的意見はほぼないと考えられる。昨年度の地域の声に対する繰り返しの指導が功を奏したようである」

- ・自己の行動を振り返り、自らの体験から実感を伴った思考・判断により自律の基礎を身に付けられるよう、学校全体で指導していきます。
- ・登下校時の安全を含め交通事故防止等について、繰り返し指導し意識を高めて行動できるようにします。

【学校行事について】

児童、保護者共に高い評価であり、「学校行事が増え児童が楽しんで活躍できる場が提供されている」との報告がありました。

- ・児童の主体的な取り組みが発揮できるような学校行事を工夫し、充実感・達成感を味わえるようにします。

【キャリア教育】

児童について、「キャリアパスポートの認識がまだ低く、キャリアのイメージがつかめない、あまり思わない、の回答が高いと判断する。今後も授業全体で取り組みを継続し、将来の目標が見つかる機会に触れさせてほしい」

保護者について、「子どもの生き方や将来について考える授業をしているに、分からない、の回答が多かった。保護者が活動を知る機会はあるものの、キャリア教育として保護者に認知されていないのではないか。提供する情報発信の仕方を工夫することで、保護者へ伝えるものとする」という報告がありました。

- ・学校だよりでは、キャリア教育について理解してもらえるように、コラムを設けて発信しています。その他にもさまざまな機会を通して情報提供・共有を図り一層の周知を図ります。
- ・子どもが「なりたい自分になるための学習」であることが分かるように、各教科・行事などとの関連を明確に示していきます。

- ・キャリアパスポートのさらなる活用を図り、小学校から中学校への継続的な資料として認識されるよう努めます。

【本校の先生について】

保護者について、「約 8 割以上が肯定的評価で良好である。相談しやすい、が比較的低めであるが、多忙な教職員の時間を配慮しての結果かもしれない。今後も双方向の円滑なコミュニケーションを図っていただきたい」との報告がありました。

- ・引き続き信頼関係を高めるよう努力します。

【全般について】

児童についても保護者についても、「全体的に高評価であり、本校の学校生活に満足している様子がうかがえる」「子どもにとって楽しい、の肯定的評価が多く素晴らしい」との報告がありました。「地域運営学校の内容や目的を知らない保護者が多いと思われる」「体力の向上の評価は、昨年度と同じく他項目と比べて低いが、今後も楽しみながら目標をもち、基礎体力をつける学ばせ方を願いたい」との報告がありました。

- ・学校重点目標やキャリア教育、地域運営学校について、学校便りや保護者会などの機会をとらえて説明し、理解していただけるよう努めます。
- ・「さきそう学舎」との交流、研修などをより充実したものにします。

【情報提供について】

保護者について「学校からの情報提供についてはおおむね高評価である。さきそう学舎について、保護者の関心が低いため、あまり思わない・分からない の回答が多くなっている可能性がある」との報告がありました。

- ・さきそう学舎で、低学年のうちから交流する機会をもち、関心を高めるように情報発信します。
- ・地域運営学校として八幡中学校とも連携する活動の一層の充実を図るとともに、保護者や地域の方へのお知らせの仕方を工夫していきます。

【学校運営について】

保護者についても地域についても「おおむね良好で評価が改善している。教職員への信頼も厚く、協力して学校運営に取り組んでいるのが伺える。地域の人たちは学校の対応に満足していると判断する」との報告がありました。

- ・信頼される学校となるよう一層努力します。

【家庭・地域との連携について】

地域からについて「学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている、の肯定的評価

が約 5 割だが、それらが数年活動しておらず、その役割も必要性も明確ではないため、実質形骸化されているので、この結果は妥当だと判断する。毎月の学校運営委員会便りは周知されており、問題のない結果となっている。昨年の八幡小学校での盆踊りでは、児童も主体的にゲームコーナーを作ったことは地域とのつながりももて、大変喜ばしい」との報告がありました。

- ・引き続き地域との連携を図り、「地域で育てる子ども」の実現をめざします。

【学校の安全性について】

保護者も地域も「良好」「非常に良好」であるとの報告がありました。

- ・引き続き安全性を維持できるよう努力します。

【八幡小独自項目について】

児童について、「全体的に高評価である。学校側との認識も差異はなく、自己評価も高いのは実態に即している。タブレットの使用方法については、評価結果よりも正しく使われていない可能性があるので、専門家の話を聞く機会を設けるなど使用方法の指導が今後も重要である」と報告がありました。

保護者について、「朝会では挨拶や言葉遣いなど大切さの指導はしているので家庭でも同じように指導を継続することを期待したい。タブレットやインターネットの正しい利用について、一部問題はあったが、全体的に親子の話し合いはなされている。使用状況を共有し、問題があったときには、より具体的に児童に注意できるような環境を整えることが必要である」との報告がありました。

- ・タブレットやインターネットの使用について、児童が直接、専門家からの具体的な話を聞く機会を設け、保護者にもその内容を共有して、適切な利用について学校と家庭において具体的に指導できるようにします。
- ・「盆踊りなどの地域行事などが必要」という保護者からの声、「楽しみにしている地域行事がある」という児童からの声に応え、さらに地域との連携を図り地域とのつながりを高めるようにします。
- ・地域から「地域の方や企業の方が授業に参加していることを知らない」という声があり、取り組みの年月が浅い「起業家教育」など、学校の取り組みを一層分かりやすく伝えるよう努めます。

保護者、地域と連携して児童が健やかに成長することが、私たちのめざしているところです。学校関係者評価委員会の報告書を真摯に受け止め、学習環境を整え、よりよい教育活動に取り組んでまいります。次年度もどうぞよろしく願いいたします。